

生駒市長 小紫 雅史 殿

独自目標達成状況についての意見書
(独自目標監査報告書)

平成27年8月26日

生駒市環境マネジメントシステム推進会議 専門チーム

代表 楠下 孝雄

環境自治体会議 環境政策研究所

守屋 有

1. 達成状況の確認実施日時

平成27年8月26日(水) 10:00~11:00

2. 確認対象

生駒市役所

3. LAS-E 確認内容

【独自目標(平成26年度実績)監査】

第1ステージ No.12, No.23, No.30

第2ステージ No.12, No.21, No.30

第3ステージ No.30

4. 確認結果(別紙のとおり)

第1ステージ No.12:○ No.23:○ No.30:○

第2ステージ No.12:○ No.21:○ No.30:○

第3ステージ No.30:○

5. 所見

LAS-E 独自目標の平成 26 年度実績の部門別評価として、第 1 ステージについては、エコアクション部門は「○」（ただし目標の達成度評価の見直し必要）、エコマネジメント部門、エコガバナンス部門は「○」、第 2 ステージは、エコアクション部門、エコマネジメント部門、エコガバナンス部門いずれも「○」と判断いたしました。

1. 第 1 ステージ

エコアクション部門は、「二酸化炭素排出量の削減」では、目標の-11.3%に対して-16%である実績を評価して○としました。また個々の実績の評価では、軽油、都市ガス、LPG が×評価となっていますが、各項目とも取組の成果は出ており、軽油は達成率 97%、都市ガスは 94%と、ほぼ達成といってよい実績となっています。なお、紙類使用量の項目は削減出来ず未達でした。ごみ排出量は達成率 88%で一定の成果があがっていると言えます。

全体としては、「二酸化炭素排出量の削減」は大きな成果として評価されますが、電気や重油の使用について、ふれあいセンターの改修に伴うレストランや浴場の休業などの特殊要因もありますので、今後の運用では十分な留意が必要と考えられます。

一方、紙類使用量の未達の項目については、「特に大きな変動がなかった」、「一部の課で使用量が増加した」などの記載がされていますが、今後の改善点を明確にする為に、具体的に明確な原因を記載されるよう推奨します。こうしたことから、取組の実績評価は○と判定しますが、改善点は、成果の取りまとめとして、達成度の評価判定を見直すこと、未達等の要因を具体的に明確にすることです。

実績の評価については、ほぼ達成しているにも関わらず「×」と評価しますと、実施している行政や市民のモチベーションにも影響があると思われ、外部への公表に際しても誤解を招くことにもなりかねません。個々の評価基準は、「○」の範囲を拡大（例えば達成率 90%以上など）することや、「△」などの評価基準を加える事などが推奨されます。

エコマネジメント部門については、推進本部の評価や職員研修などが計画通りに行われており、研修は 5 回実施（目標+1）されていました。

エコガバナンス部門の情報公開は、目標の 24 回に対して 47 回と大変充実しており、ホームページや広報できめ細かな情報の提供が行われていることは高く評価できます。

マネジメントやガバナンスは、事務的な負担も考えられますので、効率性やその効果も勘案して継続していただければと思います。

2. 第 2 ステージ

エコアクション部門は、一部の取組に未達はあるものの、全体としては環境基本計画の重点プロジェクトがよく実施されており、「○」と評価しました。

なお、ECO-net 生駒との協働による「環境にやさしい売り方・買い方に関する事業者との協議」は年間計画が 2 回であり×評価となっていますが、1 回目はスーパーとの意見交換会を開催、後半の 1 回は商工会議所と協働で新たに事業者部会を組織化したメンバーへのごみ袋有料化の説明会に変更しました。持続可能な社会の構築を目指す中で「持続可能な消費行動」の推進は非常に大きなテーマであり、今後の推進に期待いたします。

エコマネジメント部門の取組は、地域環境の状況把握、環境基本計画の重点プロジェクトの推進管理ともに実施され、地域環境の状況と課題については『生駒の環境』に掲載されました。今後は、地域環境に対する市役所の施策・事業の趣旨や成果、市民、事業者の役割などについても配慮し、地域一体で環境保全に取り組むことが重要と考えられます。

エコガバナンス部門の取組は、ECO-net 生駒が開催するイベントへの参加人数が僅かに不足しましたが達成率は 99%と良好でした。生駒市の最大の環境イベントである環境フェスティバルでもごみの資源化の展示 PR や自然エネルギー活用などを通じて市民の理解や意識を高める取り組みを継続して実施しています。ECO-net 生駒や関係団体が主催するこうしたイベントは、開催に大きな労力がかかるものであり、それらも評価しつつ、今後の継続、充実をお願いいたします。

3. 第3ステージ等

エコガバナンス部門では、第3ステージの取組である「ECO-net 生駒の環境活動の把握と公表」が予定通り実施されて『生駒の環境』に環境基本計画推進の取り組み内容が掲載されています。

全体として、市民と協働し、市民に働きかけていく取組は大変よく実施されており、今後の一層の推進に期待いたします。

別紙 生駒市環境マネジメントシステム 平成26年度実績と評価

部門	目的	項目	平成26年度目標	平成26年度目標値		平成26年度実績値			目標の達成状況	総合評価
				削減目標	削減率	削減実数		目標達成率		
						削減量	削減率			
エコアクション部門	地球温暖化の防止	二酸化炭素排出量の削減	市の事務・事業から排出される二酸化炭素排出量の総量を平成22年度比で11.3%以上(平成18年度比15.6%)削減する。	-11.3%	848t-CO ₂	-16.0%	1,200t-CO ₂	1,200	○	○
		電気	電気使用量を平成22年度比で10.7%以上削減する。(相当)	-10.7%	1,613 kWh	-14.3%	2,157 kWh	766	○	
		ガソリン	ガソリン使用量を平成22年度比で6.0%以上削減する。(相当)	-6.0%	4,658 l	-6.3%	4,885l	11	○	
		軽油	軽油使用量を平成22年度比で60.0%以上削減する。(37,576 l相当)	-60.0%	37,576 l	-58.2%	36,428 l	94	× 97%	
		都市ガス	都市ガス使用量を平成22年度比で21.0%以上削減する。(52,181kg相当)	-21.0%	52,181kg	-19.8%	49,135kg	158	× 94%	
		重油	重油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-20.3%	58kl	157	○	
		灯油	灯油使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	-25.6%	8kl	19	○	
		LPG	LPG使用量を平成22年度比で増加させない。	—	—	3.3%	▲1,716t	▲5	× 増加	

循環型社会の構築	紙類使用量	OA用紙の使用量を平成 25 年度比 6.8%以上削減する。	-6.80%	—	3.3%	▲1,942kg	—	×	増加	
	ごみ排出量	ごみの排出量を平成 21 年度比で 50%以上削減する。(39,947 kg 相当)	-50.0%	39,947 kg	-44.2%	35,279kg	—	×	88%	
健全な水循環	水使用量	水使用量を平成 25 年度比で増加させない。	—	—	-5.1%	14,439 m ³	—	○		
基本計画の重点プロジェクトの推進	「取り戻そう子どもが願う竜田川」	ECO-net 生駒と協働して、竜田川いいとこさがしツアーを年に 1 回実施します。	1 回	—	1 回	—	—	○	○	
		竜田川本流の水質測定結果について、観測地点4地点のうち1地点で、BOD の年間平均値を5mg/l 以下とします。	1地点	—	1地点	—	—	○		
	「環境にやさしい売り方・買い方を推進する生駒」	ECO-net 生駒と協働して、「環境にやさしい売り方・買い方」に関する事業者との協議を年2回開催します。	2回	—	1回	—	—	×		第2回は事業者部会として実施
	「みんなでつくる緑潤うまち」	ECO-net 生駒により、みどりのカーテンコンテストを年に1回開催します。	1回	—	1回	—	—	○		
	「太陽光発電応援団」	ECO-net 生駒と協働して、太陽光に関する情報交換会を年に2回開催します。	2回	—	2回	—	—	○		

エコマネジメント部門	推進本部の点検評価回数	環境マネジメントシステムの進捗状況を環境マネジメントシステム推進本部で年2回以上点検評価します。 ※7月頃:前年度の取組結果を踏まえた点検評価 ※10月頃:夏の節電の取組を踏まえた点検評価	2回	—	2回	—	—	○	○
	環境施策研修の実施回数	環境マネジメントシステムやその他環境に関する研修を年4回以上実施します。	4回	—	5回	—	—	○	
	環境特性の把握に関する数値目標	地域の環境特性(大気、水質等)及び二酸化炭素排出量を年に1回とりまとめ、課題を明らかにします。	1回	—	1回	—	—	○	
	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗に関する数値目標	環境基本計画の重点プロジェクトの進捗状況を年に1回以上照会し、推進本部で点検評価します。	1回	—	1回	—	—	○	
エコガバナンス部門	情報公開に関する数値目標	環境情報を広報やホームページで年24回以上提供します。	24回	—	47回	—	—	○ 196%	○
	環境施策への市民参画に関する数値目標	ECO-net 生駒と協働して、環境に配慮する市民やリーダーを育成するため養成講座を開催します。	1回	—	1回	—	—	○	○
環境に関するイベント(上記養成講座を含む。)を市民と協働して年20回以上開催します。		20回	—	28回	—	—	○ 140%		

	生駒市又は ECO-net 生駒が開催するイベント等に 13,625 人以上参加していただきます。	13,625 人	—	13,450 人 (達成度 99%)	—	—	×	99%	
環境施策への市民参画に関する数値目標	環境をテーマにした市民との意見交換会を年に 1 回以上開催します。	1回	—	1回	—	—	○		
パートナーシップ組織の環境活動内容の把握に関する数値目標	ECO-net 生駒の環境活動内容について、年に 1 回とりまとめ、「生駒市の環境」で公開します。	1回	—	1回	—	—	○	○	